

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 住民の不安に向き合う 原発行政を	令和6年能登半島地震は原発の安全について、いくつかの課題を私たちに突き付けています。女川原発を抱える私たち町民も他人事ではないと思っています。そこで、町長の見解と認識を伺います。
	(1) 能登半島地震は北陸電力の予想を上回る活断層の動きがありました。想定は96kmでしたが
	実際は150km程度にわたって動いたとされ、
	想定が甘かったと言わざるを得ません。女川原発でも周辺半径30kmにある活断層において連
	動する恐れはないかもう一度調査をすべきでは
	ありませんか。
	(2) 能登半島地震の際にモニタリングポスト等が
	欠測した事態を受け、女川町周辺のモニタリン
	グポストの状況はどうなっていますか。
	(3) 能登半島地震を見て、多くの町民から「逃げ
	ることができるのか」、「損壊した家にいて大
	丈夫か」などの不安が寄せられています。避難
	計画の見直し、改善が必要ではありませんか。
	(質問の相手：町長・担当課長)

質 問 者 高 野 晃

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2 民有空き地の雑草問題 について	(1) 民有空き地で雑草が生い茂っているところが以前から見受けられますが、近隣の住民からの相談や苦情等はありませんか。
	(2) 町では民有空き地の雑草問題について、どのような対応をとってきましたか。
	(3) 民有空き地の雑草等の除去に関する条例もしくは個別政策の制定を。
	(質問の相手：町長・担当課長)
3 加齢性難聴に問題意識を	加齢性難聴は、加齢に伴い音を感じる細胞が減少することで聴力が低下する障害で、40歳代から始まり75歳以上では約半数が難聴に悩んでいるといわれます。こうした難聴の影響は、危険の察知や人とのコミュニケーションがうまくいかなくなるとともに孤立やうつ症状、認知症の発症リスクを大きくするとも言われています。
	(1) 本町における加齢性難聴の方の把握はしていますか。
	(2) 町の健康診断に聴力検査の項目を。
	(3) 補聴器購入補助の検討を。
	(質問の相手：町長・担当課長)